

未来をつくる新しい市民参画のしくみを考える オープンフォーラム 2016 開催 平成28年2月27日(土)

アーツカウンシル東京では、海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高める国際ネットワーク事業を展開しています。

このたび、東京、台北(台湾)、ジョグジャカルタ(インドネシア)からゲストをお招きし、「オープンフォーラム2016」を開催します。

テーマ「アート、テクノロジー、市民社会」の下、市民のアイデアでまちや都市全体を変えていくしくみについて、アートや文化政策の観点から考えていきます。特に、東京の強みの一つである先端技術がアートと出会い、まちに新しい変化を生み出していくためのモデルを探求します。

■開催概要

- ・日 時:平成28年2月27日(土) 13:30~17:00
- ・会 場:アーツカウンシル東京 大・中会議室
- ・入 場 料:無料(要事前申込) ※日英同時通訳付き
- ・主 催:アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

■内 容

都市の社会学を専門とする吉見俊哉氏に基調講演をお願いし、近代の東京を形成してきた文化拠点や市民のコミュニティの可能性について展望します。また、アジア各都市の現場でアートを通じた市民プロジェクトの実践を行っている方々をパネリストに迎えてディスカッションを行います。多様な分野から市民が集い、アートの発想でまちを変えるアイデアを生み出す活動について、各都市における広がり可能性、課題を考えていきます。

13:30~13:35	主催者挨拶
13:35~14:25	【基調講演】 吉見俊哉氏(東京大学大学院情報学環教授)
14:40~17:00	【パネルディスカッション】 パネリスト(予定): 鷺尾和彦氏 (株式会社博報堂 クリエイティブ戦略企画室 クリエイティブプロデューサー、FUTURE CATALYSTS (Hakuhodo×Ars Electronica) プロジェクトリーダー) ジェイソン・スー氏(Shareable Cities & TEDxTaipei キュレーター、MakerBar 共同設立者/台湾) ヴェンザ・クリスト氏(メディアアーティスト、HONF ファンデーションディレクター/インドネシア) 森 まゆみ氏(作家、谷根千工房) モデレーター:若林朋子氏(プロジェクト・コーディネーター、プランナー)

■申込方法

メールの件名を「オープンフォーラム 2016 申込」として、お名前(ふりがな)、ご所属を本文にご明記の上、forum2016@atelier-canon.jp までお知らせください。

■申込締切

平成28年2月25日(木) ※先着80名様:定員になり次第受付を終了させていただきます。

■フォーラムに関するお問合せ先

カン工房 TEL:050-5276-5968(平日 11:00~17:00)

■出演者プロフィール



吉見 俊哉(よしみ しゅんや)／東京大学大学院情報学環教授

専攻は社会学、都市論、メディア論、文化研究で、演劇論的なアプローチを基礎に、日本におけるカルチュラル・スタディーズの中心的な存在として先駆的な役割を果たしてきた。人々の集まりの場におけるドラマの形成を考えるとところから出発し、近代化のなかでのポピュラー文化と日常生活、そこで作動する権力について考察。近年は、東京の北東地域の文化資源を再評価する「東京文化資源区会議」に携わる。著書は『都市のドラマ トゥルギー』(1987年)、『博覧会の政治学』(1992年)など多数。



鷺尾 和彦(わしお かずひこ)／
株式会社博報堂 クリエイティブ戦略企画室 クリエイティブプロデューサー、
FUTURE CATALYSTS (Hakuhodo × Ars Electronica) プロジェクトリーダー

戦略プランニング、クリエイティブ・ディレクション、コミュニケーションデザイン、インタラクティブ・メディア・プロデュース、新規事業開発など、数々の企業のイノベーションを支援。2014年に、アルスエレクトロニカと博報堂との新たなクリエイティブ&イノベーション・プラットフォーム「Future Catalysts: Hakuhodo × Ars Electronica」を立ち上げる。従来の枠組みを超え、多様な個人が持つ創造性を活かし合うことで、社会課題に挑むというチャレンジを指揮している。2014年度から「PRIX ARS ELECTRONICA」(国際コンペティション)の審査員も務め、アーティスト、イノベーター、研究機関との国際的なパートナーシップを広げている。また写真家として、日本及び海外でのエキジビション、また写真集等の著書も多数。



ジェイソン・スー／Shareable Cities & TEDxTaipei キュレーター、MakerBar 共同設立者

都市改革とデータの視覚化を専門とする革新的なコンサルティング企業、ザ・ビッグ・クエスト共同創設者。TEDx 台北の監督で、アジア地域の TEDx 大使を兼ねる。ストーリーテリングの手法と新しいメディアを駆使して、情報に対する認識の変革に取り組んでいる。また、台湾における有力なハードウェア/ソフトウェア統合インキュベーターであるメイカーバー台北の共同設立者である。現在は、立法院において、イノベーション、テクノロジー、教育を専門とする立法委員を務める。



ヴェンザ・クリスト／メディアアーティスト、HONF ファンデーションディレクター

1999年以降、ニューメディアアートに軸足を置き、ジョグジャカルタにニューメディアアート・ラボ、HONF ラボ(2011年からは HONF ファンデーションと改名)を設立した。メディアアートの分野で新しいアイデアを共有し、育てるためのスペースとして、アーティストや創造的実践家、科学者、ハッカー、活動家、一般市民など社会のより広範な人々が集い、探索・対応型の対話を積み重ねて、文化の枠を超えて教育やアート、テクノロジー、地域コミュニティを融合させようとしている。また、2007年以降「CELLSBUTTON」(ジョグジャカルタ国際メディアアート・フェスティバル)、オープン・カルチャーとクリティカル・メイキングのための新しいプラットフォーム(2014)、「TRANSFORMAKING」(2015)を立ち上げ、ディレクターを務める。

Courtesy of:
Winter Camp 2009, Amsterdam
Institute of Network Cultures /
INCInstitute of Network Cultures /
INC

森 まゆみ(もり まゆみ)／作家、谷根千工房

1954年、東京都文京区動坂に生まれる。早稲田大学政経学部卒業、東京新聞研究所修了。1984年に仲間とともに地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊し、2009年の終刊まで編集人を務める。地域の記憶を記録に替え、谷根千ブームの火付け役となった。著書に『鴉外の坂』(芸術選奨文部大臣新人賞)、『「即興詩人のイタリア」』(JT B 紀行文学大賞)、『彰義隊遺聞』(北東文芸賞)、『「青鞥」の冒険』(紫式部文学賞)など多数。

【モデレーター】



撮影：山本尚明

若林 朋子(わかばやし ともこ)／プロジェクト・コーディネーター、プランナー

デザイン会社勤務を経て、英国ウォーリック大学院で文化政策とアートマネジメントを学ぶ。1999年～2013年、公益社団法人企業メセナ協議会に勤務。プログラム・オフィサーとして、企業が行う文化支援活動の推進と環境整備に従事。調査研究、メセナ事業の企画・運営（ネット TAM 等）、助成、政策提言、出版、セミナー等を担当した。現在は文化を含むソーシャルプロジェクト全般のコーディネーター、編集、執筆、コンサルティング、調査研究等を行っている。NPO 法人理事（芸術家と子どもたち、JCDN、アートプラットフォーム、芸術公社）、監事（ON-PAM、音まち計画、アーツエンブレイス）、アートによる復興支援プロジェクト「ARTS for HOPE」運営委員。

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムに向けて、先導的役割を担うプロジェクトを展開しています。

www.artscouncil-tokyo.jp

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京広報 担当：森（隆）、浅野
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

CULTURE



TOKYO